



ウイトラレポート 2010年10月号

「 端末業界の地殻変動の現状と見通し 」

はじめに

現在、携帯端末業界の勢力図は急激に変動している。世界シェアの40%近くを持ち、難攻不落を思わせた Nokia の業績が急速に悪化し、利益では新興勢力である Apple に抜かれている。伝統的グローバル端末企業の Motorola と Sony-Ericsson は大きくシェアを落とし赤字決算が続いている。順調にシェアを拡大して世界2位、3位の地位を確立した Samsung、LG も業績を悪化させている。

業績が好調なのは Apple、RIM などの新興勢力である。しかし、凋落傾向にあった Motorola と Sony-Ericsson は Android OS を搭載した Android 端末に注力し業績は底を打った感がある。これら一連の端末業界の変動はスマートフォンブームと呼ばれている。今回はこのスマートフォンブームの実態各社の最新 Android 端末を中心に分析し将来展望を考える。